

事業化前提の説明会 住民の反発で開けず

小金井市の都道

東京都は17日、小金井市で、市民の反対意見が多い優先整備路線3・4・11号の意見交換会を開きました。公募による市民43人、自治会代表、オブザーバーの小金井市職員が参加。都側が傍聴を認めないことに市民が抗議。傍聴者を入れたことで開会したものの、都が道路の事業化を前提に説明しようとしたため、市民側が道路の必要性から議論すべきと反発し、議事に入れないまま閉会しました。

住民の主な意見は▽都はパブリックコメントで示された見直し求める多数意見と、市議会の見直しを求め意見書、市長の同意できないとの表明を無視している▽小池百合子知事が公約

した現地視察が実現しないまま事業を進めることに反対▽旧都市計画法で大臣決裁と内閣認可を得ないで「決定」した違法な計画―など。

2017.11.26東京民報